

令和4年度

年報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



目次

I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要..... 3

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 令和4年度・活動方針
- 4 施設の概要
- 5 令和4年度予算
- 6 入館者数と内訳

II 企画した展覧会及び関連事業 5

- 1 企画展・友の会展・特別展
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座・展示説明
- 4 友の会活動

III 写真でたどる年間活動 13

- 1 企画展
- 2 友の会展
- 3 特別展
- 4 初夏の講座・こたつ講座
- 5 ワークショップ・講座
- 6 出前講座
- 7 展示説明
- 8 友の会の活動
- 9 その他

IV 新市立博物館出前展示 20

V 学芸員実習の受け入れ 21

VI 調査研究・広報活動への取り組み 21

VII 収蔵している資料の整理 資料の活用に向けて 22

VIII 新たな収蔵資料 23

IX 当館に寄せられたみなさまのご意見 利活用者からみる外部評価..... 23

- 1 アンケート回答者に見る入館者内訳
- 2 夏季企画展 主な感想より
- 3 春季企画展 主な感想より

X 博物館のこれから 27

表紙写真：上：夏季企画展「安曇野の戦争」を真剣に学ぶ子どもたち
下：春季企画展で野良着を楽しく試着する子どもたち

1 開館からの略歴

昭和54年4月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成17年10月	5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成24年4月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成26年3月のリニューアルオープンを経て、平成29年3月、4年ぶりのリニューアルオープンをいたしました。
平成27年11月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。平成28年、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。

2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たな文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」という新市立博物館構想の基本理念に沿った活動を心がけます。

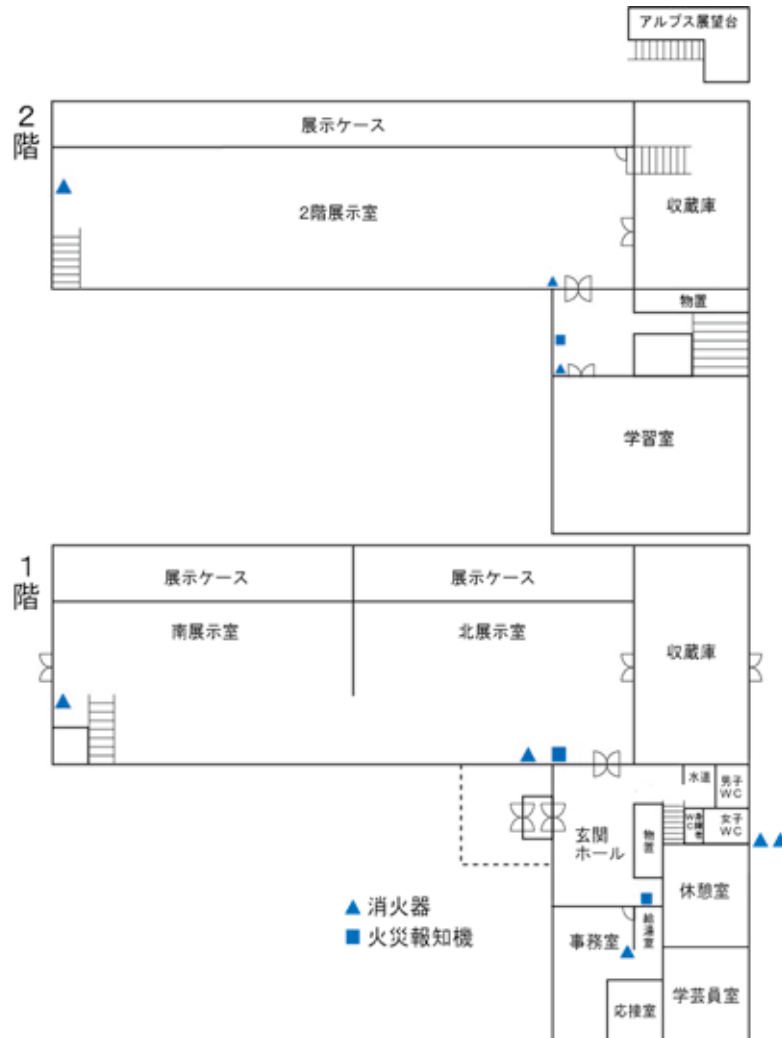
3 令和4年度・活動方針

安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の方針で進めました。

- ◆市民の教育と文化の向上と輝かしい未来を創造する力を培うため、新市立博物館建設準備室、市文書館、穂高郷土資料館、市文化財資料センター等の関係機関との連携をし、様々な活動を創意工夫しながら博物館の研究成果を広く市民に還元していきます。
- ◆このような理念に基づいて博物館活動を行うため、貴重な資料の収集、その資料に基づく精緻な研究、その成果としての展覧会の開催、さらに市民に情報を提供する教育普及活動などの諸活動を積極的に行います。

4 施設の概要

- 敷地面積 2,016㎡
- 建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積 747㎡（延床面積 1,020㎡）
- 平面図



5 令和4年度予算

総額 約27,174千円

本年度は企画展解説パネル等製作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

6 入館者数と内訳

入館利用者総数	9,226人	（令和3年度数	8,310人	対前年度比率	111.0%）
有料入館者数	1,711人	（令和3年度数	1,559人	対前年度比率	109.7%）
児童生徒入館者数	1,676人	（令和3年度数	1,501人	対前年度比率	111.7%）

Ⅱ 企画した展覧会及び関連事業

1 企画展・友の会展・特別展

(1) 企画展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
	春季企画展「八面大王と田村麻呂～その原点へ、魔道王登場～」(令和4年3月20日～5月22日)(原 明芳)	4月1日(金)～5月22日(日)45日間	企画展示室	1,268
1	安曇野市平和都市宣言10周年記念 夏季企画展「安曇野の戦争～郷土から戦場へ～」(原 明芳)	7月23日(土)～9月19日(月)50日間	企画展示室	1,347
2	第39回白鳥写真展	2月4日(土)～3月5日(日)25日間	企画展示室	684
3	春季企画展「わたしの野良着」(宮本 尚子)	3月18日(土)～3月31日(金)11日間	企画展示室	202

入館者合計 3,501

(2) 友の会展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	参加者
1	第37回山草・サクラソウ展	5月3日(火)～5月5日(木)3日間	学習室	200
2	第36回写真展・第17回ボタニカルアート展	6月4日(土)～6月19日(日)14日間	企画展示室	308
3	第19回絵手紙展・第8回戦時生活展	11月12日(土)～11月27日(日)13日間	企画展示室	304
4	第68回書芸展・第4回着物リメイク展	1月14日(土)～1月29日(日)14日間	企画展示室	632

入館者合計 1,444

(3) 特別展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	参加者
1	「103年後に蘇った銀象嵌大刀」	4月29日(金)～5月8日(日)9日間	2階ホール	403

入館者合計 403

2 講座・学習会

(1) 企画展関連講演会・講座(博物館学習室を定員50名⇒20名に入場制限)

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
1	『八面大王伝説』成立の背景をめぐって(春季企画展講演会)	4月23日(土)	牛山 佳幸 (信州大学名誉教授)	三郷公民館	89
2	「八面大王は誰か～『信府統記』の魏石鬼、魔道王、田村麻呂～」(春季企画展講座)	5月21日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	40

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
3	「魏石鬼岩窟を中心に古墳見学」 (春季企画展現地説明会)	4月16日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	魏石鬼岩窟・陵塚	20
4	「田村堂(重要文化財)と若澤寺跡の見学」 (春季企画展現地説明会)	5月14日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	田村堂・若澤寺跡	20
5	ギャラリートーク (春季企画展)	5月5日(木) 午前・午後	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	19
6	ギャラリートーク (春季企画展)	5月22日(日) 午前・午後	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	19
7	「穂高・有明空襲について —米軍資料から考える—」 (夏季企画展講座)	7月23日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	17
8	「戦死者を祀る —郷土は戦死者をどう扱ったか—」 (夏季企画展講座)	8月27日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	18
9	「太平洋戦争末期の松本平への陸軍航空部隊の展開」 (夏季企画展講座)	9月17日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	13
10	「満願寺(穂高)への世田谷区太子堂小学校の学童疎開記録」 (夏季企画展上映会)	8月11日(木)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	19
11	ギャラリートーク (夏季企画展)	7月31日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	7
12	ギャラリートーク (夏季企画展)	8月21日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	9
13	ギャラリートーク (夏季企画展)	9月18日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	15
14	ギャラリートーク (春季企画展)	3月18日(土) 午前・午後	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	企画展示室	4

参加者合計 309

(2) 主催講座・イベント

①初夏の講座 ※昨年度、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったこたつ講座3～7回を初夏の講座として実施。

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「江戸時代後期の満願寺をめぐる僧侶たち」	5月28日(土)	逸見 大悟 (教育委員会文化課)	博物館学習室	15
2	「源平の戦いと安曇野」	6月4日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	21
3	「絵本に描かれた植物の世界」	6月11日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	10
4	「天の糸～自然との共生～」	6月18日(土)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	7
5	「ふしぎなななふし」	6月25日(土)	幅 拓哉 (教育委員会文化課)	博物館学習室	13

参加者合計 66

②こたつ講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「かわるもの・かわらないもの ～博物館の断捨離～」	12月17日（土）	倉石あつ子 （豊科郷土博物館職員）	博物館学習室	14
2	「日本林業と樹木の研究に尽くした 林学博士 白沢保美」	12月24日（土）	松田貴子 （豊科郷土博物館職員）	博物館学習室	14
3	「困った生きもの ～市に寄せられた 生物苦情の現場から～」	1月14日（土）	幅 拓哉 （教育委員会文化課）	博物館学習室	14
4	「すばらしき『野良着』」	1月28日（土）	宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員）	博物館学習室	20
5	「黒沢洞合自然公園はじまり物語 ～中学生が創った公園の話～」	2月4日（土）	窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	博物館学習室	16
6	「絵地図に江戸時代の安曇野をみる」	2月18日（土）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	博物館学習室	23
7	「安曇野の気になる生き物たち」	3月4日（土）	那須野雅好 （教育委員会文化課）	博物館学習室	14
8	「住吉庄の開発と領主たち」	3月11日（土）	逸見 大悟 （教育委員会文化課）	博物館学習室	25
9	「発掘調査からわかった古代の開発」	3月25日（土）	山下 泰永 （教育委員会文化課長）	博物館学習室	25

参加者合計 165

③ワークショップ

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	大麦の虫かご作りワークショップ	7月10日（日）	矢口健陽児 （元穂高郷土資料館職員） 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） 博物館友の会 自然と暮らしの文化部	鐘の鳴る丘 集会所	大人16 小人2
2	裂き織ワークショップ	10月9日（日）	宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） 博物館友の会 自然と暮らしの文化部	鐘の鳴る丘 集会所	大人5 小人2

参加者合計 25

④夏休み子ども講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	勾玉作り	8月3日（水） ～5日（金）	豊科郷土博物館職員	博物館駐車場	大人18 小人29
2	藍の生葉染め	8月7日（日）	博物館友の会 自然と暮らしの文化部	鐘の鳴る丘 集会所	大人2 小人5
3	切り絵で楽しもう	7月30日（土） ～8月14日（日）	豊科郷土博物館職員	博物館 1階ロビー	大人40 小人48

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
4	藍の葉のたたき染め	7月30日(土) ～8月14日(日)	豊科郷土博物館職員	博物館 玄関ポーチ	大人9 小人14

参加者合計 165

⑤昔の暮らし体験教室 in 博物館

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	昔の暮らし体験教室in博物館 (豊科南小)	2月25日(土)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人14 小人14
2	昔の暮らし体験教室in博物館 (豊科北小、明北小、明南小)	2月26日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人6 小人6
3	昔の暮らし体験教室in博物館 (豊科東小、穂高南小)	3月4日(土)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人6 小人9
4	昔の暮らし体験教室in博物館 (穂高北小)	3月5日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人16 小人17
5	昔の暮らし体験教室in博物館 (三郷小)	3月12日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人9 小人10

参加者合計 107

3 出前講座・展示説明

(1) 博学協働関係

①豊科北中学校 1学年総合的な学習の時間

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	地域学習講演会	5月23日(月)	原 明芳・松田 貴子・ 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科北中学校	大人8 小人120
2	フィールドワーク① (雨天のため教室での学習に変更)	6月6日(月)	原 明芳・宮本 尚子・ 窪田 尚幸・松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 那須野雅好 (教育委員会文化課)	豊科北中学校 1組：歴史・民俗 2組：自然	大人6 小人80
3	フィールドワーク②	6月20日(月)		2組：歴史・民俗 東洋紡・駅前通り 3組：自然 屋敷林	大人6 小人80
4	フィールドワーク③	6月27日(月)		3組：歴史・民俗 東洋紡・駅前通り 1組：自然 屋敷林	大人2 小人38
5	テーマ追究学習① 3組：歴史・民俗 1組：自然	9月12日(月)		原 明芳・松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	東洋紡 屋敷林
6	テーマ追究学習② 1組：自然	9月26日(月)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	屋敷林	大人1 小人19

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
7	テーマ追究学習② 3組：歴史・民俗	10月3日（金）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	東洋紡	大人2 小人25
8	テーマ追究学習③ 1組：自然	11月14日（月）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	屋敷林	大人2 小人38
9	テーマ追究学習③ 3組：歴史・民俗	12月5日（月）	原 明芳・倉石あつ子・ 窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科北中学校	大人2 小人40
10	学習発表会 （館長講評）	2月16日（木）	原 明芳・松田 貴子・ 窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科北中学校	大人6 小人116

②豊科北中学校 2学年総合的な学習の時間

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	テーマ追究学習 自然	8月29日（月）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	豊科北中学校周辺	大人1 小人24

③豊科南中学校 3学年総合的な学習の時間（戦争グループ）

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	戦争について	7月15日（金）	原 明芳・窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人1 小人6
2	夏季企画展「安曇野の戦争」 ギャラリートーク	8月26日（金）	原 明芳・窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人2 小人11

④三郷中学校 1学年総合的な学習の時間「三郷セルフ」

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	三郷郷土資料館見学	6月17日（月）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	三郷郷土資料館	大人4 小人33
2	三郷郷土資料館見学	6月24日（月）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	三郷郷土資料館	大人6 小人65
3	三郷郷土資料館見学	7月1日（木）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	三郷郷土資料館	大人5 小人63

⑤堀金小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	6学年安曇野探検 見学・糸つむぎ体験	5月27日（金）	宮本 尚子・窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人6 小人74
2	ものづくり体験クラブ コースターづくり①	11月2日（月）	宮本 尚子・窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人2 小人12
3	ものづくり体験クラブ コースターづくり②	11月10日（木）	宮本 尚子・窪田 尚幸 （豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人2 小人12

⑥豊科北小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	6年1組地域体験学習① (安曇野ふるさとづくり応援団)	5月31日(火)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科北小学校周辺	大人13 小人36
2	6年1組地域体験学習② (安曇野ふるさとづくり応援団)	11月15日(火)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科北小学校周辺	大人14 小人35

⑦穂高西小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	3学年総合的な学習の時間 クララの草木染め①	6月7日(火)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人2 小人65
2	3学年総合的な学習の時間 クララの草木染め②	6月8日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人2 小人65
3	3学年総合的な学習の時間 クララの草木染め③	6月9日(木)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人2 小人65
4	地域探検クラブ①「道祖神」	6月15日(水)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校周辺	大人2 小人13
5	地域探検クラブ②「学校の樹木」	7月4日(月)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校周辺	大人2 小人11

⑧有明あおぞら認定こども園

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	千歯こきを用いたお米の脱穀体験	10月4日(火)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	有明あおぞら認定 こども園	大人8 小人42

⑨豊科高校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	信州学講座「安曇野の食文化」	1月11日(水)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科高校	大人31

⑩つくば開成学園高等学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	博物館見学	9月7日(水)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人13

⑪神奈川大学

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	博物館見学	9月4日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人6

⑫市内各小学校「昔の暮らし体験教室」

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	市内各小学校「昔の暮らし体験教室」	1月16日(月) ～2月21日(火)	DVDと資料の貸出	市内各小学校 (10校中8校)	大人21 小人692
参加者合計					2,109

(2) 市内他館との連携した講座・講演会

①明科公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	明科の宝講座「人と自然が織りなす明科の植生」	4月20日(水)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	明科公民館	大人17
2	明科公民館講座 明科生活・文化講座 「自然に還す方式の便所と今」	5月26日(木)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	明科公民館	大人15
3	明科の宝講座「暮らしの中のまつり」	6月17日(金)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	明科公民館	大人9

②穂高公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	自然体験・環境講座「里山トレッキングと自然観察会～乗鞍高原滝めぐり～」	6月10日(金)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	乗鞍高原	大人18

③豊科公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	出会いふれ合い生きがいセミナー② 「源平合戦と安曇野」	8月5日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科公民館	大人21
2	出会いふれ合い生きがいセミナー④ 「鬼か神か!? 八面大王」	12月1日(木)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科公民館	大人49

④三郷公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	ふるさと講座2 木曾郡木祖村の自然散策	9月14日(水)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	木祖村水木沢	大人14

⑤安曇野市図書館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	職員研修会 講演会「八面大王と田村麻呂」	4月22日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	穂高交流学習 センター	大人46

⑥安曇野市教育委員会

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	安曇野 戦争と平和展 ギャラリートーク	7月15日(金) ～17日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	安曇野市役所	大人37 小人3

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
2	安曇野市協働のまちづくり出前講座 「安曇野市の暮らしと自然を学ぶ 60分」	9月1日(木)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	豊科高校	大人38
3	社会教育指導員研修(展示説明)	8月2日(火)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人6
4	安曇野アカデミー「安曇野の住まい」	10月6日(木)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科公民館	大人27
5	安曇野市協働のまちづくり出前講座 「安曇野市の暮らしと自然を学ぶ 60分」	1月22日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	柏原会館	大人34
6	中信地区社会教育委員連絡協議会安曇野市ブロック研修「安曇野の戦争」	2月17日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人9

参加者合計 343

(3) その他の出前講座・展示説明

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	安曇平の戦跡めぐり (平和憲法を生かす安曇の会主催)	5月2日(月)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	市内各地	大人16
2	植物と親しくなる観察会 (烏川溪谷緑地 環境管理事務所)	5月15日(日)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	烏川溪谷緑地	大人17
3	昔の民具を使った回想法	6月22日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高デイサービス	大人33
4	松本大学学芸員課程見学	6月25日(土)	原 明芳・倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人6
5	辰野町郷土史研究会発足記念講演会 「信濃国の成立」 (辰野町教育委員会主催)	6月26日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	辰野町役場	大人61
6	長野県民俗の会 企画展の展示説明	8月6日(土)	原 明芳・宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人9
7	長野県立歴史館考古学講座第5回 「重要文化財が出土した平安時代のムラを探る」	11月5日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	長野県立歴史館	大人62
8	とよしな楽集塾「豊科の歴史～マチの文化と生活をたどる」	11月15日(火)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	社会福祉協議会 豊科支所	大人14
9	安曇誕生の系譜を探る会 安曇野歴史サロン「偽造された歴史」	11月26日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	明科公民館	大人68
10	信州歴史フォーラム「信濃国の成立」	12月10日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	才能教育会館	大人68
11	小海町教育委員会「監的塚について」 (現地指導後に審議会委員向けの講座)	12月15日(木)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	小海町 北牧楽集館	大人14
12	牧のおもしろ発見講座 「牧に残るかつての自然の魅力」	3月25日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	牧公民館	大人33

参加者合計 401

4 友の会活動

No.	講座名	会員数	活動回数	参加延べ人数	1回平均	企画展
1	書道部	16	45	462	10.3	1
2	絵手紙部	23	23	355	15.4	1
3	着物リメイク部	10	25	177	7.1	1
4	植物画部	21	24	383	16.0	1
5	山草部	15	6	39	6.5	1
6	写真部	6	(各自の活動)			1
7	戦時生活部	10	25	145	5.8	2※
8	自然と暮らしの文化部	23	25	157	6.3	
9	植物調査部	16	35	168	4.8	
10	郷土史部	31	11	115	10.5	
11	タカラさがし部	73	9	529	58.8	

※内1回は、8月2～9日に穂高交流学習センターにて開催

参加者合計

2,530

※1 役員会・総会1回（4月15日）

※2 会報発行3回（No.125～127）

※3 美化活動2回（6月19日：参加41名・7月30日：参加者：15名）

※4 視察研修 中止

Ⅲ 写真でたどる年間活動

1 企画展

①安曇野市平和都市宣言10周年記念 夏季企画展「安曇野の戦争～郷土から戦場へ～」

◆展示風景



◆企画展講座



◆企画展ギャラリートーク



◆市内中学生への展示説明



②第39回白鳥写真展

◆展示風景



③春季企画展「わたしの野良着」

◆展示風景



◆企画展講演会 福澤昭司 長野県民俗の会
「仕事着から見た人々の暮らし」



◆ギャラリートーク



◆ワークショップ
「伸子針で洗い張り体験」



◆ワークショップ
「綿の手袖コースターづくり」



2 友の会展

◆第37回山草・サクラソウ展 (山草部)



◆第17回ポタニカルアート展（植物画部）



◆第36回写真展（写真部）



◆第8回戦時生活展（戦時生活部）



◆第19回絵手紙展（絵手紙部）



◆第4回着物リメイク展（着物リメイク部）



◆第68回新春書芸展（書道部）



3 特別展「103年後に蘇った銀象嵌大刀」



4 初夏の講座・こたつ講座

◆松田貴子「絵本に描かれた植物の世界」



◆倉石あつ子「天の糸～自然との共生～」



◆宮本尚子「すばらしき“野良着”」



◆窪田尚幸「黒沢洞合自然公園はじまり物語
～中学生が創った公園の話～」



5 ワークショップ・講座

◆大麦の虫かご作り



◆裂き織体験会



◆夏休みこども講座「切り絵」



「藍の葉たたき染」



「勾玉づくり」



◆昔の暮らし体験教室 in 博物館



6 出前講座

◆中学校地域学習支援



◆小学校クラブ活動支援



7 展示説明



8 友の会の活動（友の会展発表以外の部）

◆郷土史部による地域巡検・古文書講座



◆植物調査部による調査および植物学習会や標本作製



◆自然と暮らしの文化部によるロケットストーブ作製やコースターづくり



◆タカラさがし部による火打石体験やいちご狩り体験



9 その他

◆博物館の窓辺の緑のカーテン



◆収蔵資料の燻蒸



IV 新市立博物館出前展示

博物館では平成 28 年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。令和 4 年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

事業	実績
安曇野の春の訪れ	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月1日（金）～5月31日（火） ・日数：61日 ・会場：ほりでーゆ～四季の郷
—古式ゆかしく— 穂高神社遷宮祭	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月20日（水）～5月31日（木） ・日数：26日 ・会場：本庁舎1階ホール
虫っておもしろい	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月22日（水）～6月20日（月） ・日数：37日 ・会場：明科中学校
江戸時代を生きる～出来事を記録する古文書～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：7月1日（金）～7月26日（火） ・日数：22日 ・会場：穂高交流学习センターみらい
みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：7月6日（水）～9月20日（火） ・日数：33日 ・会場：明科中学校
みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：10月8日（土）～10月9日（日） ・日数：2日 ・会場：環境フェア
懐かしき安曇野の水のすがた～移り変わりの記録～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：10月8日（土）～10月9日（日） ・日数：2日 ・会場：環境フェア
安曇野の災害	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：10月8日（土）～10月9日（日） ・日数：2日 ・会場：環境フェア
究極のリサイクルだった廁の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：9月20日（火）～11月21日（月） ・日数：42日 ・会場：明科中学校

事業	実績
みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月9日（土）～4月24日（日） ・日数：13日 ・会場：貞享義民記念館
懐かしき安曇野の水のすがた～移り変わりの記録～	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月9日（土）～4月24日（日） ・日数：13日 ・会場：貞享義民記念館
—古式ゆかしく— 穂高神社遷宮祭	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：7月28日（木）～9月30日（金） ・日数：65日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷
リンゴ村への道	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：9月29日（木）～11月30日（水） ・日数：63日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷
多文化社会の中に生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：11月30日（水）～1月31日（火） ・日数：31日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷
正月様どこまでござった？ 正月ちゅうのはいいもんだ!!	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：12月6日（火）～11月30日（火） ・日数：58日 ・会場：明科中学校
白井吉見 その人、その言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・会期：1月31日（火）～3月31日（金） ・日数：60日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷

V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の受け入れは5名でした。

展示概論として常設展示や企画展示「安曇野の戦争」の解説を行いました。資料の保管や館の事務業務、友の会活動について学んだほか、実習としてフトン（資料梱包材）づくりやイベントの準備、植生調査などの実習も行いました。また関連施設（資料館・文化財資料センター・文書館等）を見学するなど、安曇野市内の歴史民俗から自然まで幅広い分野にわたる実習となりました。



VI 調査研究・広報活動への取り組み

当博物館では、安曇野市内の自然や歴史、文化の価値をさらに深め、また新たな価値を見出していくために、調査研究を進めています。これらの成果は、博物館紀要や企画展を通じて広く安曇野市内外の皆様にお伝えしています。令和4年度の紀要第10号では、2つの研究報告と、2つの活動報告を行いました。

研究報告では「穂高古墳群の銀象嵌大刀が語ること」として白居直之氏から寄稿いただき、当館職員

により「素描 古代末期から中世の安曇野」を報告しました。

活動報告では当館の積極的な館外活動について具体的な事例を交えて報告しました。このような調査研究活動は、展示・講座などの博物館活動を支え、市民の学習・研究活動の支援につながっています。

自然分野では、この調査研究をもとに明科・長峰山の山頂草原の草刈りを関係団体（行政、地元住民、市民団体等）とともに実施し、草原生態系の保全に寄与しています。

また館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたりするたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報活動も頻繁に行っております。



Ⅶ 収蔵している資料の整理

資料の活用に向けて

安曇野市教育委員会所蔵の民俗資料は、旧三郷民俗資料館、旧堀金歴史民俗資料館、穂高郷土資料館、穂高文化財資料センター（旧明科歴史民俗資料館収蔵資料）、豊科郷土博物館に収蔵されています。令和4年度は、旧堀金歴史民俗資料館の資料整理をしました。

旧堀金歴史民俗資料館には、民俗資料・歴史資料・書籍などが収蔵されていますが、空調機能がないため、令和2年度には虫の付きやすい資料を中心に博物館収蔵庫へ移行するなど、以前から少しずつ整理を始めていました。今年度は、高橋啓コレクション室と2階北側展示室の資料を中心に整理を進めました。整理作業は、博物館職員3名と整理作業員3名で行いました。資料の状態を確認し、資料タグの付与、写真撮影、収蔵箱等への保管、資料の状態と所在をデータベースに入力しました。今回整理した民俗資料は、引き続き旧堀金歴史民俗資料館にて保管し、高橋コレクション室の資料は、燻蒸後博物館で保管することとしました。

自然分野では、野外調査や友の会活動を通して植物標本を収集しています。これらはさく葉標本資料として博物館で保管し、データ化を進めています。令和4～5年度には安曇野市レッドデータブック改訂が行われており、これらの標本資料は基本データとして寄与しています。

今後も引き続き、資料整理を行い、資料活用の利便性を高めていきたいと思っております。



Ⅷ 新たな収蔵資料

- ・南穂高庄屋家資料（什器・衣類・武具等） 101点
- ・穂高牧庚申講資料
- ・昭和40年代学童用具・オルガン等 8点
- ・三郷温庚申講資料
- ・新田庄屋家資料（武具） 2点
- ・錫杖・須恵器杯（松本市立博物館より）
- ・植物標本資料 930点



南穂高庄屋家資料（什器）



三郷温庚申講資料
（青面金剛 掛軸）



穂高牧庚申講資料
（青面金剛 掛軸）

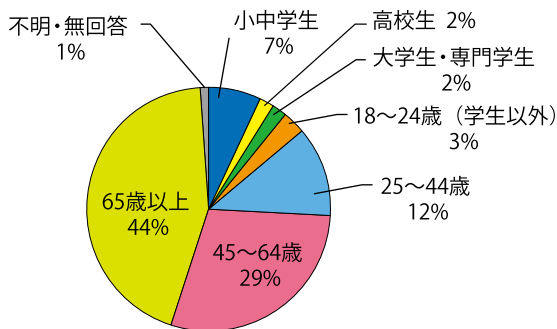
Ⅹ 当館に寄せられたみなさまのご意見

利用者の意見からみる外部評価

1 企画展アンケート回答者に見る入館者内訳

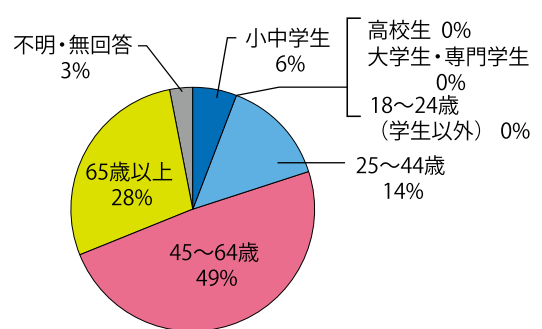
夏季企画展「安曇野の戦争」

年齢別入館者の割合

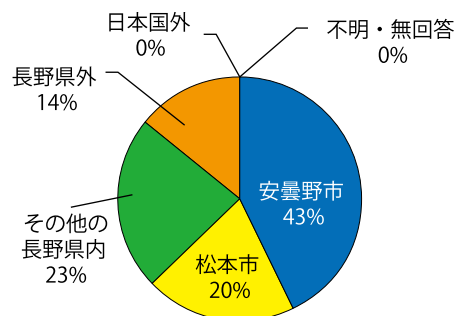
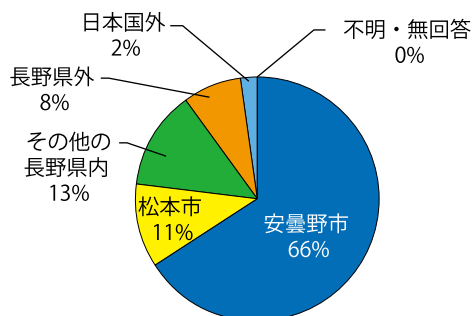


春季企画展「わたしの野良着」

年齢別入館者の割合



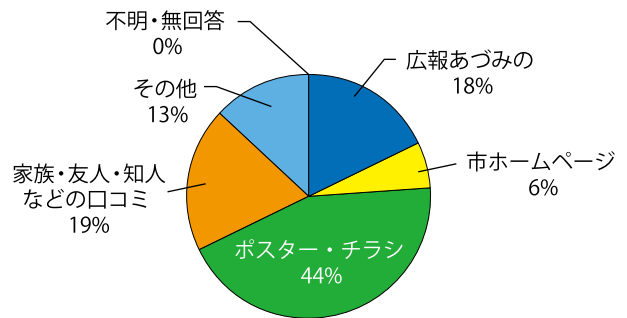
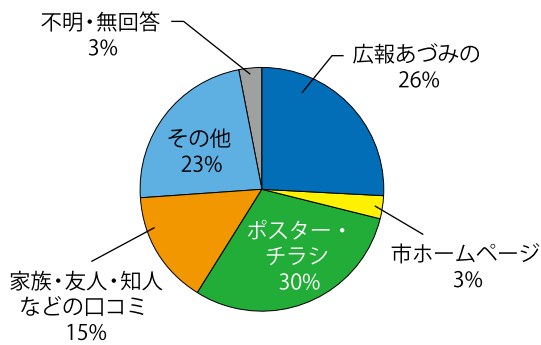
住所別入館者の割合



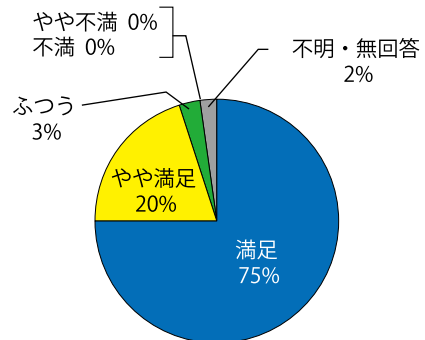
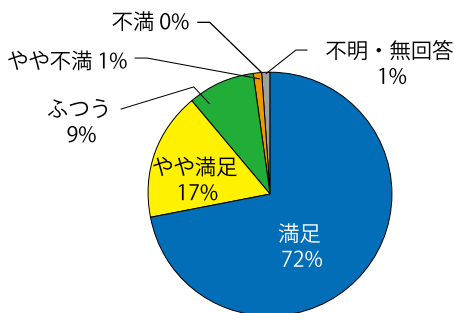
夏季企画展「安曇野の戦争」

春季企画展「わたしの野良着」

企画展を何で知ったか



展覧会観覧者の満足度



2 夏季企画展「安曇野の戦争 ―郷土から戦場へ―」 主な感想より

- ・戦後77年を迎え、戦争を知る方が少なくなっている。今年はロシアによるウクライナ侵攻が起これ、現在もなお続いているが、戦争は攻めた方も、攻め込まれた方も、双方に亡くなるという犠牲が生じているという事実を直視しなければならない。今回、「誰も死にたいと思って戦争に行った者はいない。皆やりたいことがあったらろうに、無念の死を遂げた人々の思い」を形にして、展示されたことはとても大切なことである。
- ・地域ごとの徴兵数や戦死者数のデータなどから、この戦争が大都市だけでなく、この安曇野という一地方にとっても、他人事ではなく、自分の、家族の出来事であり、大きな影響を及ぼしていたことを感じる事ができた。この地域の博物館だからこそ、集められたデータであり、実現できた企画だと思う。見に来てよかったです。21世紀とは思えない思考から起きてしまった現在の戦争（ウクライナ侵攻）の前にあって、今年の8月6日、8月9日、8月15日は特別な意味がある。そんな中、この企画展にも大きな意味があると思う。
- ・旧五町村のあと2つの名簿が分かるといいです。市史で取りあげてほしい（「忠魂碑」）。歴史的遺産として残してください。忘れてはいけません。
- ・一人ひとりの名前が展示してあり、戦争は国がはじめるものだが、犠牲になるのは家族を持つ国民一人ひとりだということがよく分かった。日章旗の様子から苦難が推察された。青柳長一さんの回想録を読ませていただき、御家族の苦勞がひしひしと分かった。A4の回想録をもう少し目立つように展示していただくとよかったです。
- ・戦争と地域との関わりを知ることでできる展覧会だと思います。教科書の中の出来事と、市内各地域とは交わる機会がなかったな…と思いました。実際にウクライナで戦闘も起こっている中、若い

人たちも来て、当時の若者の思いに寄り添ってほしいなあと思いました。

- 戦争の歴史は忘れてはいけなし、今を生きる人々が語り継いでいかないと強く思いました。祖父が有明で生まれ育ったのですが、亡くなる前に戦争を体験した話を聞きました。小学校に爆弾が落ちたこと、演習場付近で弾を拾いお金と交換してもらったなど、当時の話を聞きました。祖父の戦争の記憶を私は大切にしていけないと、と感じました。
- 亡くなった祖父たち（母方、父方）は生きて戦地から帰ってきたが、戦争のことを話すこともなかったし、祖父たちからは語ることもなかったのもので、今回の展示を見て改めて平和でなければいけないと思った。
- 安曇野の戦争ということで、安曇野は東京や大阪などの大都市離れ、又、海からも遠いため、あまり戦争の被害はないのかと思いましたが、安曇野の方々が、その多くが若者、戦地へ行き、そして戦死され、帰ってこられた、ということが、写真や文章、資料からリアルに感じられ、その家族や周りの人々はどんな思いだったろうかと色々と考えさせられました。特に航空隊の佐々木武さんや、フィリピンのミンダナオ島での青柳さん一家の逃避行のお話は胸が苦しくなりました。現在、ウクライナで戦争が終わっておらず、本当に世界は戦争があってはならないと心から思います。
- 6年生の社会でまだ教わってないことも知れたし、戦争のおそろしさをよく知れたのでよかったです。
- 立派に整理されており、もっと多くの市民が見学されるべき資料です。小中学校の課外授業などにも活用してはどうでしょうか。
- 大東亜戦争を振り返り、考えさせられるよい企画であったと感じました。しかし場所が2階で階段しかなく、高齢や足の不自由な方が見ることが難しいのではないかと感じました。
- 大正11年生まれの戦死率は30%を超えたというような指摘は重要だった。全体として、なぜこれほどの犠牲が生じたのか、日本軍のあり方などとの関連でもう少し解説がほしい。昭和19年以降、敗戦が確定的になった後、戦争を続けたことの責任についてなど。
- 実際の展示されている遺品が物語る史実に心打たれました。展示の順序などからこの時代背景への理解が大変に分かり易くて感動致しました。
- 現安曇野市で犠牲になった方々の多さに驚いた。軍隊手帳や回顧録は当時を知る上で貴重な史料であると分かった。最後に慰霊碑についての解説があったが、実際に道端で見かけることが多く、これからも都度、戦争、平和について考えていきたい。ありがとうございました。
- 何のために日々暮らしているのか、何のためにこのような戦いの場に送り出されなければならないのか、いたたまれない気持ちでいっぱいです。OBONの活動をしている姉から話を聞きながら見れたこともあり、心に深く入るいい時間となりました。戦争は絶対にだめです。亡くなった方々の死を無駄にしないように幸せで平和な世の中が続くよう祈っています。
- ひとりひとりの名前を出して、どこで亡くなったか示されている展示は初めて見たように思います。とても印象的でした。戦争の惨禍を忘れないために、「地域に生まれ育ったひとりひとり」の視点から考えることはとても大切だと思いました。ありがとうございました。
- 敗戦77年になる今年、軍事費2倍化が叫ばれるこのごろ、やる意識は大きい。被害と加害を考えさせる展示を期待します。
- 昔の字が分からないので、訳を付けてほしいです。安曇野市の平和都市宣言は、花畑風で抽象的。もっと宣言らしくした方がよいのでは？
- 1階常設展について。安曇野市穂高に実家があります。小・中学生の時に、無意識に参加していたお祭りの意味を大人になった今、考えることができました。残し、続けていきたいです。2階企画展について。戦争の被害をイメージする時、「広島」や「長崎」「東京」といった被害を受けた「場

所」を思い浮かべがちでした。今回の展示では、戦地に行った「人」にクローズアップされていて、「場所」をイメージすると結びつけづらかった「安曇野」と「戦争」のつながりを感じることができ、新鮮な発見が多くありました。

- ・16歳、17歳で志願し、古参兵からビンタをくったり、精神注入棒で叩かれ戦死した少年兵が可哀想であった。戦没者名簿は豊科、穂高があれば、更によかった。
- ・昔のことが知れてよかった。(子) 子どもと戦争について、考えることができました。(母)
- ・死者名簿を見て、すべての戦地にいつている。又、シベリア抑留戦争が終わって日本に帰れなくて中国で亡くなった人々をリアルに感じる事ができた。10日前に満蒙開拓平和記念館に行ったので、よくわかる。今、日本は中国、ウクライナ戦争を使って軍事費を拡大させようとしている。一度拡大した軍事費は縮小できない。できることで反対していきたいと思った。
- ・個人の遺品から地区の戦争との係りまで分かりやすくまとめられ、感心しました。戦死者の名簿をすべて貼り出すことは最近よく見られますが、やはり、これだけ大勢の人が戦争によって命を落としたことを実感できるよい展示方法だと思います。当時の遺品や使われていた物をもう少し多く展示いただければより臨場感のある企画になったのではないのでしょうか。

3 春季企画展「わたしの野良着」 主な感想より

- ・ユキバカマの変せんがわかりおもしろかった。実物があり私世代にはなじみのないものでしたが、新鮮でした。今時の格好もそれぞれ用途がありおもしろいけれど、もんぺでもじゃいて作業してみたいと思いました。人形を多用してあり本物感がありとてもよかった。あちこち宣伝します。
- ・歴史に残りにくいところを実例を通して調べられていて参考になりました。農作業や裁縫をやっている昔の知恵のすばらしさに感動し、自分の生活にとり入れたいと日々想っています。今、みのを作っていますが、わらの小物やどうぐ、竹かごなどのうつりかわりなど'工夫'の発見があると思います。正月かざりの地域性などもおもしろいと思います。
- ・戦前からの「野良着」をキーワードに、そのなりたちや、各地のちけいの解説があり、この地域の名産品のちがいによって野良着が異なり現代の「NORAGI」へと至る すばらしい展示でした！ありがとうございました！
- ・野良着 とても身近で今も着ているけど歴史を考えることがなかったのですごく新鮮でした。昔のこと遠くに感じる事が多いけど、この企画はとても身近で現在進行形でとても面白かった。
- ・なつかしかった。着てみたい。野良着を着て集まりたい。作り方を教えてほしい。今、この「野良着」を集めて保管しないとすてられてしまう。大事にしないといけない。
- ・昔の記録がありなつかしかった。ぜひユキバカマの講習をお願いします。作りたいです。
- ・拝観料が安くて気軽にこられました。野良着の試着ができたり、もんぺの型紙を見られて参考になりました。
- ・「無駄なく裁つ」のユキバカマの型ガミが作る時のイメージが出来て良かった。
- ・調べ方が深い。多面的。今の視点。写真大きい。
- ・教員をしており、子ども達との学習の参考にさせていただこうと来館しました。学習の参考となる資料を沢山見る事ができました。ありがとうございました。
- ・実物と作るための型紙が見れこと、試着できたことがとても良かった。軽くて動きやすく最高に良かったです。
- ・古い野良着の実物を拝見できたことは大変良かったです。写真ではわからない仕立ての構造、傷み

具合などが良く分かりました。現代の野良着が、作物によってバリエーション豊かになっているのも面白いところです。

- ・解説が読みやすく、マネキンに着衣させているため着た時の衣服の状態がわかりやすいため、野良着の機能や歴史が理解しやすかった。
- ・テーマがおもしろい。働きやすさ防寒、布の使いまわしなど、とてもおもしろい。野良でのトイレ、ぬれるという事、ゴム長がない頃のこと、麦のトゲ以外にヒルなど、いろいろ具体的にあるといい。
- ・どんな風味に着ているのかよくわかったし、見るだけで実際に着てみる事もできたので、良さが更に実感でき、講演会のお話もすーっと入ってきました。会津地方でもコッコギ・サルツパカマと似た呼び方をします。綿木綿一反を使ってお婆ちゃんと実際に作る講座があって楽しかったのを懐かしく思い出しました。安曇野の野良着も作ってみたいなあ〜！
- ・時代ごとの展示が丁寧に分かり易くて楽しかったです。展示の見せ方に工夫が沢山みられて、かつゴチャゴチャせずゆったりと美しかったです。
- ・衣類、特に働き者の経済的負担はどうだったのか。ノラギも正月や盆に下ろしたなどあるのか。
- ・写真のひきのぼしの画像がきれいだった 懐かしがったお婆あちゃんがよく着ていたのを思い出しました。
- ・田畑作業でいまでもモンペなどはいているので、作ったりもするので見やすくおかれていて、その型もそえられているのがうれしかったです。持ち帰れる資料もあり良かったです。参考になります！
- ・ゆきばかまをはけたところ。鏡もあってうれしい。イラスト書いた人がセンスよさげ。ちゃんと〇〇までひっぱってきて講演会もあったとこ、すばらしい！

X 博物館のこれから

令和4年度の8月には、安曇野市平和都市宣言制定の10周年を迎えるということで、企画展「安曇野の戦争 ー郷土から戦場へー」を開催しました。安曇野の人々が、どのように兵士となって戦場に向かい、そして命を落としたか、郷土はかれらをどう扱ったかを取り上げて、展示をしました。会場に、三郷地区・明科地区・堀金地区の戦死年月日、戦死場所も記した戦病死者名簿を貼り出したところ、多くの方々に足を止めていただきました。帰り際に「わたしの父親が、叔父が……」とお話をしてくださった方も非常に多かったです。

会期が終わった後も、穂高・有明空襲をはじめとして安曇野で経験した戦争を、わざわざ来館して語りに来てくれた方や、中には大事な遺品も持って来てくださった方もいました。皆さんに共通するのは、戦争は歴史ではない、まだ自らの体験したことを伝えたい、という強い気持ちをもっていることです。うれしいことは、博物館はそれを聞いてくれる、そして次に伝えてくれると、期待をして、足を運んでくれることです。中学生も戦争のことを聞きにやってきました。おじいちゃんやお婆あちゃんも戦争のこと知らない世代です。かれらが聞く戦争は、現実ではなく歴史です。このギャップをこえて、戦争を伝えていくことこそが博物館の役割だと思っています。

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

公式サイト

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

発行 令和5年9月30日